

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年12月4日

【会社名】 ヤマト・インダストリー株式会社

【英訳名】 YAMATO INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 杉浦大助

【本店の所在の場所】 埼玉県川越市大字古谷上4-2-74番地

【電話番号】 049(235)1234(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部統括 茂木久男

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区上野三丁目9番1号

【電話番号】 03(3834)3111 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 藤元勝利

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成27年12月4日開催の取締役会において、特定子会社の異動を伴う子会社取得を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

名称	BIG PHILIPPINES CORPORATION
住所	Blk 3Lot 2 Daiichi Industrial Park Ecozone, Maguyam Road, Silang, Cavite 4118 Philippines
代表者の氏名	President and CEO 山田 由紀夫
資本金の額	50,000千ペソ（約130百万円）
事業の内容	精密機器用プラスチック部品の製造販売

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る特定子会社の議決権の数及び特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

議決権の数

異動前：	個
異動後：	398,748 個

総株主の議決権に対する割合

異動前：	個
異動後：	79.7 %

(3) 当該移動の理由及びその年月日

当該異動の理由

当社が上記会社の株式を取得することにより当社の子会社となり、当該会社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、特定子会社に該当するためであります。

当該異動の年月日

平成27年12月28日（予定）

(4) 取得対象子会社に関する事項

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	BIG PHILIPPINES CORPORATION
本店の所在地	Blk 3Lot 2 Daiichi Industrial Park Ecozone, Maguyam Road, Silang, Cavite 4118 Philippines
代表者の氏名	President and CEO 山田 由紀夫
資本金の額	50,000千ペソ
純資産の額	174,052千ペソ
総資産の額	320,370千ペソ
事業の内容	精密機器用プラスチック部品の製造販売

(注) 資本金の額、純資産の額、総資産の額は、平成26年12月期のものです。

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位：千ペソ)

	平成24年12月期	平成25年12月期	平成26年12月期
売上高	254,860	338,772	484,857
営業利益	22,931	36,209	50,502
経常利益	23,098	41,849	50,189
当期純利益	21,071	39,008	46,829

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社グループは、当社・子会社5社で構成され、合成樹脂成形関連事業及び物流機器関連事業を主な事業として展開しております。

当社グループの発展には、継続してグローバル展開を進める事が不可欠であり、海外での事業拡大を進めるために、アジア地域における事業領域の強化を積極的に推進しておりますが、現在海外での経営資源は、収益が期待できる中国に集中しているのが実情であり、一国集中のリスクを考え東南アジア地域におけるチャイナプラスワンの事業展開を模索しておりました。

今回子会社化するBPC社は顧客が当社グループのターゲットと合致していること、また、当社グループの事業範疇とは異なる小型精密成形品の製造販売をしていることから、当社グループの得意とする中大型成形品と合わせてシナジー効果が期待でき、ユニット生産などの幅広い営業展開を図ることができます。

金型製作に関しましても、当社国内関連会社及び中国関連会社との連携を図ることにより、当社グループのノウハウを生かし、優位性を実現することができます。

またBPC社は、当地にてすでに18年の事業運営を行っており、現地スタッフによる業務推進がうまく進んでいることもあり、新しい事業展開を進めていく上でもスムーズに進めていくことが可能であると考え、当社グループの更なる発展と業容の拡大に寄与するものと判断し、今回の子会社化を決定致しました。

(6) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額(概算)

BIG PHILIPPINES CORPORATION 普通株式	578百万円
アドバイザリー費用(概算額)	26百万円
合計(概算額)	604百万円